

会員数	35,645	(前月比) +141
郵送	8,550	(前月比) -177
手配り	24,869	(前月比) +861
協同基金到達額	2,479,645,000円(7/31現在) [前月比 39,647,000増]	
協同基金出資者数	12,517名(7/31現在)	
いのちを守る助け合い募金額	409円(7/1~31)	

1部30円

東西支部

支部活動の紹介



高石ブロック

たまり場きららで懇談



大仙西支部

会員さんと人権ふれあいセンター見学



みなと支部

世話人と懇談



いきいきした活動や 歴史にふれる

新入職員 オリエンテーション

85人が友の会体験

今年4月に同仁会グループに入職した職員への、後期のオリエンテーションが、7月17日～18日に行われました。

オリエンテーションでは、各支部との懇談では、支は、毎年健康友の会みみはらに、毎年の活動の様子、友の会の歴史などが盛り込まれています。今年も85人が10グループに分かれ、各支部・ブロックと交流しました。

友の会体験を終えて 新入職員の感想の一部を紹介します

●友の会の生き生きした人々を見て、ここで支え合ったり救われてる人がいる。そういう場所を病院もつながって、組織立てられることは大切やし、素晴らしいと思った。(医師)

●「アクリルたわし」という物作りを通して地域の人と交流することができた。病院で働く医療従事者もその地域のひとりであることが実感することができた。(看護師)

●同仁会を想い、支えてくださっている友の会の方々と直接お会いし、生の声を聞くことで、職員としてその思いに添えていきたいと思えました。(言語聴覚士)

南花田支部

ピラ配り後、おはぎを食べる



向ヶ丘支部

懇談後おそろいのうちわをもって



鳳支部

会員さんと一緒にアクリルたわし作り



深井支部

ともの家で抹茶を体験



ふくいずみ支部

原水禁世界大会に向けて千羽鶴糸通し体験



大浜支部

たまり場で懇談



聴診器

「スキマの植物図鑑」塚谷裕一著・中公新書を買った。葉っぱが大きくて芽が出たらすぐに

切っていたアカメガシワ、ずっと空き地になっていた宅地の端で最近まで紫色の花を咲かせていたヒレアザミ、今、赤い花を咲かせているモミジアオイ、孫がきたら穂であそぶエノコログサ(猫じゃらし)、池の堤のスキ、ピンクの球状の花をつけているヒメツルソバ、秋になったら黄色い花が咲くツワブキ、マンホールの蓋に沿って広がったカタバミ、小型の実がたくさんつくイヌビワ。道すがら目にする草花、わが庭の雑草の中に咲く草花をこの本の中に見つけると、名前とその植物の特徴がわかる▼アカメガシワなら「根元から伐られても伐られても、残ったところから新しい枝を出して復活する能力が高い」。なるほど伐っても伐っても生えてくるはず。耳原病院と似ていますよ(笑)。この猛暑の夏を少しでも楽に過ごしたいと、図書館で建築の本を見ていたら、池や川の水辺、緑地、芝生、保水性ブロックをした歩道の表面温度が低いとあった▼雑草でうまれた庭にうんざりだったのが、地表の温度を下げておくとあれば、雑草と共存し、そのいくつかの名前と特徴を知り、身近の自然をたのしむ夏らしい。戦争法案を廃案に追い込む暑い夏。(山上佳代子)